

< 平成29年度 学術研究業績一覧 >

【 健康栄養学部管理栄養学科 】

(平成29年4月1日～平成30年3月31日発表分)

氏名	業績区分	共著・単著の別 (単独・共同の別)	タイトル	出版社(発行所・発刊者等) 主催(学会・審議会名等)	発刊年月 発表年月	掲載誌等	その他・備考等
仲尾 玲子	学術論文	共著	「食品衛生学実験の衛生管理項目に対する学生の意識調査と教育効果」	山梨学院短期大学	平成30年 2月	山梨学院短期大学研究紀要第38巻19頁～26頁	査読付き論文 共著者：関戸元恵、青木慎吾、中川裕子(山梨学院短大)
	調査・報告	共著	「地域の食と栄養活実習Ⅰ(地域農畜産物活用)加工食品報告書1」	山梨県・山梨学院大学	平成30年 3月	平成29年度山梨県・山梨学院大学連携事業報告書	共著者：福井智
	調査・報告	単著	「笛吹市特産農産物を用いた地域ブランド創造に係る業務委託報告書」	笛吹市・山梨学院大学健康栄養学部 八代地区都市農村交流推進協議会	平成30年 3月	—	—
	評論・解説	単著	「O-157暑さ残る時季要注意」	山梨日日新聞	平成29年 9月	—	—
	口頭発表	共同	「食品衛生管理における手洗い操作の検討(第2報)」	日本食品保蔵科学会	平成29年 6月	6月大会講演要旨集 Vol. 66th 50頁	共著者：関戸元恵、中川裕子、(山梨学院短大・食物栄養科)
	口頭発表	単独	「スモモ(太陽)の濃縮ペーストの製造と利用」	日本食品保蔵科学会	平成29年 6月	6月大会講演要旨集 Vol. 66th 90頁	共著者：水上知香、三枝夏実、成島悠、西ヶ谷日向子、佐久間香穂、福井智、 名取貴光(山梨学院大学)
	講演	単独	「山梨の食 — 郷土料理ほうとう — 」	山梨機会工業会総会	平成29年 5月	5月総会及び講演会要旨集	—
	講演	単独	「山梨の食 — 漬物・ダイエット — 」	関東漬物協議会総会	平成29年 6月	6月総会	—
	講演	単独	「すもも(太陽)濃縮ペースト開発の取り組み」	山梨県産業技術センター 山梨県菓子工業組合組合	平成29年 8月	和菓子講習会	—
古閑美奈子	口頭発表	共同	「成人の食塩摂取量に影響する食品摂取の検討—平成26年度山梨県民栄養調査結果より」	日本栄養改善学会	平成29年 9月	9月大会	共同発表者：藤井まさ子
	口頭発表	共同	「山梨県民の食塩摂取量に関する研究(第1報)—その他の調味料の内訳、料理別の調味料からの食品摂取量、料理別摂取回数と食塩摂取量の関係について—」	山梨県栄養学術研究会	平成30年 2月	2月大会	共同発表者：藤井まさ子、河野美咲、佐久間香穂
	口頭発表	共同	「山梨県民の食塩摂取量に関する研究(第2報)—汁物の摂取回数・具材と食塩摂取量の関係—」	山梨県栄養学術研究会	平成30年 2月	2月大会	共同発表者：藤井まさ子、梶原奈津美、中山道葉月
	口頭発表	共同	「山梨県民の食塩摂取量に関する研究(第3報)—朝食におけるパンの摂取の有無、副食品数・種類と食塩摂取量の関係—」	山梨県栄養学術研究会	平成30年 2月	2月大会	共同発表者：藤井まさ子、西ヶ谷日向子、村松絹恵
名取 貴光	口頭発表・ ポスター発表	単独	「ヒストン脱アセチル化を介して寿命延長作用を発揮する食品成分の探索」	山梨科学アカデミー	平成29年11月	平成29年度第2回交流大会 山梨県若手研究者奨励事業費研究成果発表会	—
	口頭発表・ ポスター発表	単独	「甲州小梅に見出す アンチエイジング効果」	山梨県漬物協同組合	平成30年 1月	新春賀詞交歓会	—
	ポスター発表	共同	「ウメリグナンによる線虫(Caenorhabditis elegans)の寿命延長効果について」	日本生化学会	平成29年12月	第90回神戸大会	遠山千晶(健康栄養学部4年生)
	口頭発表・ ポスター発表	単独	「神経変性疾患の予防・治療に向けた基礎的研究」	山梨学院生涯学習センター	平成30年 2月	山梨学院学術報告会2017	—
	口頭発表・ ポスター発表	共同	「山ウドのアンチエイジング効果と神経変性疾患予防効果について」	日本農芸化学会	平成30年 3月	2018年度名古屋大会	川住亮之、春原天真、宮島まどか(健康栄養学部3年生)
	口頭発表・ ポスター発表	共同	「ヒストンのアセチル化を介したメリグナンによる線虫の寿命延長効果」	日本農芸化学会	平成30年 3月	2018年度名古屋大会	遠山千晶(健康栄養学部4年生)
	調査・報告	単著	「ヒストン脱アセチル化を介して寿命延長作用を発揮する食品成分の探索」	山梨県	平成29年 4月	山梨県若手研究者奨励事業費研究成果報告書	—
針谷 夏代	学術論文	共著	「Relationshipbetween epigeneticregulation, dietaryhabits, and thedevelopmental origins of health and disease theory.」	日本医学会分科会	平成29年 4月	CongenitalAnomalies (Kyoto)Vol.1.57, Num. 6, p184-190 (PMID: 28169463)	査読付き論文 共著者：K. Mochizuki(山梨大学 教授)、 K. Horma(静岡県立大学 助教)、T. Goda(静岡県立大)
	学術論文	共著	「BRD4 regulates adiponectin gene induction by recruiting the P-TEFb complex to the transcribed region of the gene.」	ネイチャー・ジャパン株式会社	平成29年 9月	Scientific Reports Vol. 7, Num. 1:11962 (PMID: 28931940)	査読付き論文 共著者：N. Sakurai(静岡県立大学大学院 修士課程)、N. Hariya、 T. Kubota(聖徳大学 教授)、K. Ozato(NIH上席研究員)、 T. Goda(静岡県立大学 教授)、K. Mochizuki(山梨大学 教授)
	口頭発表	共同	「脂肪肝モデルスナネズミにおけるアナグリブチンによる脂質代謝改善作用」	日本糖尿病合併症学会	平成29年10月	第32回日本糖尿病合併症学会	共同発表者：安田隆史(山梨大学大学院 修士課程)、 近藤真之祐(山梨大学大学院 修士課程) 望月和樹(山梨大学 教授)
	口頭発表	共同	「脂肪肝動物モデルにおける肝炎マーカーのアナグリブチンによる発現抑制効果」	日本糖尿病合併症学会	平成29年10月	第32回日本糖尿病合併症学会	共同発表者：近藤真之祐(山梨大学大学院 修士課程)、 安田隆史(山梨大学大学院 修士課程)、 望月和樹(山梨大学 教授)
	口頭発表	共同	「ベータカロテンの過剰摂取は、脂肪肝を発症したスナネズミにおいて炎症関連タンパク質の発現を増大させる」	生命科学系学会合同年次大会	平成29年12月	ConBio2017(生命科学系学会合同年次大会)	共同発表者：近藤真之祐(山梨大学大学院 修士課程)、 安田隆史(山梨大学大学院 修士課程)、 望月和樹(山梨大学 教授)
	口頭発表	共同	「レスベラトロールによるマウス末梢白血球の酸化ストレス低減効果」	山梨県栄養学術研究会	平成30年 2月	第2回 山梨県栄養学術研究会	共同発表者：井上拓哉(山梨大学大学院 修士課程)、 望月和樹(山梨大学 教授)